

### 3年生、総合的な学習の発表会

3年生は、総合的な学習で「社北のたから」を見つける活動を行ってきました。10月8日に、これまで見学したり調べたりしたことをまとめて発表会を行いました。他のクラスの発表も聞けるように、2班ずつ3年生の3つの教室に分けられました。

熊野神社について発表した班は、ご神体が朝倉氏とつながりがあることを劇とクイズを交えながら解説していました。一乗谷から足羽川を流れてきた熊野権現像を村人が見つけて、大切に祀るために村人たちがお金を出し合って、熊野神社を建てたという伝承をくわしく伝えました。



クイズを取り入れて発表

笏谷石について発表した班は、丹巖洞を管理する人が、児童の質問に答えながら笏谷石について説明している様子を寸劇で発表しました。段ボールで作った笏谷石を使い、管理する方の仕事を分かりやすく再現できていました。



寸劇で発表

ペープサートを作り、笏谷石を掘る様子を演じる班もありました。文字と声だけではない、道具を使い動きのある発表は、聞いている子どもたちにも好評で、「げきがとてもおもしろかったです。ペープサートが大きくて見やすかったです。」との感想が聞かれました。



ペープサートで発表

笏谷石の実物を示しながら発表する班もありました。水に濡れると、きれいな緑色になることを、実際に石をぬらして示していました。

また、多くの班が、発表にクイズを取り入れていました。三択形式で手を挙げてもらったり選択肢を絵で示したりと、聞き手も巻き込みながら工夫して発表しました。



実物を示して発表

子どもたちは班の仲間と、どんな発表にするか検討して準備してきました。発表方法はバラエティに富み、これまでの学習での経験が活かされているようです。